

次世代を担うSC 経営者層の育成を目指す
SC 業界唯一のビジネススクール

SC ACADEMY

SCアカデミー

第18期生募集案内

2024年4月～2025年3月

◆受講のおすすめ

当協会は、1973年設立以来、SC業界の人材育成に重点を置き、今日までセミナー、通信教育、海外研修などの各種教育プログラムを実施して参りました。

2007年には次世代のSC経営者層の育成を目的として、SCを学術的・体系的に学び、SCの新潮流や将来動向についても理解を深めるためのプログラム「SCアカデミー」を創設いたしました。これまでに629名が卒業され、現在17期生38名が在学中です。また、16期よりオンラインを活用し、全国規模で遠隔地の方でも受講いただけるようになりました。

このほど第18期生の募集を開始いたしました。つきましては、貴社の次世代を担う人材の教育機関として、本SCアカデミーをご活用いただきますようご案内申し上げます。

◆目的と特色

1. 次世代を担うSC経営者層の養成を目的とします。
2. SCを学術的・体系的に学び、SCの新潮流や将来動向についても理解を深めていただけます。
3. 一方的な受け身の授業ではなく、“考える力”をつける授業です。
4. 講師は各コースの指導教授の他に、各分野で活躍されているゲスト講師をお招きします。
5. 受講生相互の情報交換や、ネットワークづくりに役立ちます。



一般社団法人
日本ショッピングセンター協会

● SC序論 (合宿研修)

Curriculum

指導教授／小嶋 彰 (株)フロンティアリテール研究所 代表取締役(SC経営士)

日程	単元	課 目	内容と目的
4/11 (木)	1	合宿研修について	SCアカデミーにおける学習の意義や手法、覚悟等について、および、18期生の連携強化について
	2	特別講義 I	調整中
	3	環境革命の世紀	今世紀最大の課題である「環境」に対し、我々はどうのような位置に立ち、何を考え、何をすべきなのか？ 商業環境やSCを取りまく「環境」の様相を、歴史的・批評的・包括的に俯瞰しながら、このアボリアへの展望を示す。
	4	『The Art of Being』 SCの存在可能性への問いと技術	自然環境、健康、平和、経済・・・社会が直面する複合的な危機が、ビジネスの存立基盤を揺るがしています。SCとは“何か”と本質から問い直すこと、そしてその姿勢を支えるものとして、「哲学」の知を自分のものにしましょう。
	5	SCアカデミーを100倍楽しむ方法	問題意識の持ち方や、グループディスカッションの意義など、アカデミー受講のコツについてお話しします。
			交流会
4/12 (金)	6	経済社会における小売商業の役割	<ul style="list-style-type: none"> アフターコロナ社会における次世代商業施設開発と管理運営のヴィジョン創り 家計消費構造の2024年アップデートと人々のライフスタイルの変化 SCの重要な構成要素となった飲食・サービス業、および食品専門店のパワー発揮施策 地域活性化における商業施設の役割 着眼対局＝我が国経済の諸動向と着眼小局＝経済のマクロ環境を受けた日々の商業活動の実務的対応策
	7	特別講義 II	調整中
	8	ショッピングセンターのリポジショニング 「タウンセンター」を紹介	イーコマース時代に成長しているフォーマット、タウンセンターについて講師の著書を教材に、日本での可能性を探ります。
	9	グループディスカッション	グループに分かれ、与えられたテーマ、課題についてグループ内でディスカッションを行い、まとめ発表する。
	10	総 括	合宿研修のまとめ

● SC総論 I

Curriculum

指導教授／犬塚 潤一郎 実践女子大学生活科学部 教授(哲学、メディア学、風土学)

日程	単元	課 目	内容と目的
4/19 (金)	1	考える技術としての「哲学」	Creative Solutionism(創造的解決主義)の時代、単に対応する(react)のではなく、独自の革新的ソリューションを創造的に生み出す(create)、知の技法を哲学に学ぶ。
4/26 (金)	2	「幸福」に寄与する店舗デザイン	資本主義・産業社会の転換のなかで、これからの商業をいかにデザインするか。SC空間の意味とかたちを具体的に構想する。
5/10 (金)	3	「生命的」な社会におけるSC経営	エコロジカルエコノミー時代におけるSC運営企業の“存在意味”とは何か？ それを実現するための理論と姿勢について考察する。
5/17 (金)	4	社会の進化と「日常」の深化	デジタル化と人の関係の変化、そしてAIと人の能力の進化が問われるなか、街と暮らしの意味と豊かさはどのように進化できるでしょう。
5/24 (金)	5	資本主義に代わる「試本主義」の挑戦	小さな島の万屋からスタートした事業は、なにをめざし、どう歩んできたか。その発展の先には。
5/31 (金)	6	Actual Visionary Meeting: 地球と人類を視野に、SCの現状を大きく変えようとする志を持つ人々が共に語り合う	受講生の皆さんと、講義を担当した講師たちとの、クロスインパクトミーティングを行う。

● SC総論 II

Curriculum

指導教授／彦坂 裕 (株)スペースインキュベータ 代表取締役・上海視覚芸術学院德稻大師学院教授・日本建築家協会会員

日程	単元	課 目	内容と目的
6/7 (金)	1	エリアマネジメントの現代的位相と都市環境の運営	<スクール形式> 街とSCの再生を国内外の先進的事例を中心に紹介しながら、その方策、キーワード、意味、課題などを包括的に分析し、都市事象のデータ化や可視化、さらにその言語化の重要性、そして実験的なマネジメント推進方法を展開する。
6/14 (金)	2	ランドスケープとSCの相互交通	<スクール形式> 庭園の構成手法からランドスケープの概念、ランドスケープと都市創造・地域創造の問題を紹介するとともに、今後重要になるSCにおけるランドスケープ価値やランドスケープの視野の可能性、景観創造、まちづくり、エコロジーの実践的展開を考察する。
6/21 (金)	3	「SCの定義」をめぐる	<クロストークセッション> ゲストパネラー交えた受講生との対話の中で、SCというターミノロジーの定義をめぐる議論を多様な視点から討議する。パネラーによるミニ座談会も開催予定。
6/28 (金)	4	SC・グルーエン・映画	<スクール形式> SCの父と言われるヴィクター・グルーエンの足跡、その思想と方法、現代におけるレガシーを紹介しつつ、映画と都市の相関性やSCをめぐる文化的問題を、歴史的横断性をもちながら考察する。
7/5 (金)	5	集客装置としての商業環境	<スクール形式> 集客や滞留、さらには顧客・参加者の支持を得るイベント創造の歴史的・同時代的事例、その制作論、現代における展開、そして地域創生との関係などにフォーカスを当てながら、商業環境の魅力やレジリエンスを高めるあり方について深掘りする。
7/12 (金)	6	SCの未来価値	<パネルセッション> 受講生参加型で、SCがもつ未来価値、そのイノベーションをリベラルアーツの視界で考える。ゲストパネラーには、アカデミー講師を含む最前線で活躍されている方々を招聘。合わせて、総論IIの総括も行う。

● SC 経営実践論

Curriculum

指導教授/矢木 達也 (株)ピーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役社長(SC経営士)

日程	単元	課 目	内容と目的
8/23 (金)	1	リート・ファンドとバリュアップ	商業施設の所有形態として定着化したJリートとその仕組みを理解する。 アセットマネジメント視点からの外部成長策、内部成長策を考えてみる。
8/30 (金)	2	プレイスメイキングによるSCの新たな可能性	SCや周辺エリアの空間を誰もが使いこなせる居心地の良い空間に変える。 多様なアクティビティを創出させるプロセスやデザイン、ネットワークづくりを考える。
9/6 (金)	3	地方商店街の活性化事例から学ぶ	地方商店街の活性化、まちおこしの具体策を事例から学び、SCでの応用を考える。
9/27 (金)	4	海外先進事例を通して 新たなSC開発の手法を学ぶ	アジアでのSC開発をケーススタディにコンセプトワークから、プロセスプランニング、 デザインワークなど、ネットにはかなわないリアルの場づくりを学ぶ。
10/4 (金)	5	リテイルの未来像	SCのパートナーであるリテ일러は今後どのように変化していくであろうか。消費者 ニーズの予測をベースに未来像を考える。
10/25 (金)	6	SCで活用すべき テクノロジーや新たな試み	リテイルテックやフードテックなど、SCを取り巻くテクノロジーの進化は目覚ましい。 ネクストを考える力をつけるため、新たなアイデア・テクノロジーに触れる。
11/1 (金)	7	まとめ — 次世代SCの仮説づくり —	グループ別ディスカッションとプレゼンテーション

● 特別演習

Curriculum

指導教授/太田 巳津彦 (株)ワイ・キャップコンサルティング 代表取締役(SC経営士)

日程	単元	課 目	内容と目的
9/20 (金)	1	特別演習 I	ケーススタディを通じて、戦略策定のフレームワーク手法を習得する。
10/18 (金)	2	特別演習 II	注目の商業施設や商業地を訪問し、フィールドワークを行う。
11/15 (金)	3	特別演習 III	フィールドワークに基づき、当該施設の活性化戦略を策定し、プレゼンテーションしていただく。

● 特別講義

Curriculum

日程	単元	課 目	内容と目的
4/11 (木)	1	特別講義 I	調整中
4/12 (金)	2	特別講義 II	調整中
7/19 (金)	3	特別講義 III	調整中
8/2 (金)	4	特別講義 IV	調整中

● ゼミ方式 (いくつかのグループに分ける)

Curriculum

日程	単元	内 容
7/26 (金)	1	卒論書き方講座、各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他
9/13 (金)	2	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他
10/11 (金)	3	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他
11/8 (金)	4	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他

※やむを得ない事由により、講師・時間割・講義内容等を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆第18期 SCアカデミー開催要領

1. 会場 (一社)日本ショッピングセンター協会(東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル15F)、他
2. 期間 2024年4月～2025年3月(授業は11月中旬まで実施予定)
3. 時間 金曜日 18:30～20:30 ※授業によって変更になる場合がございます
4. 受講料 440,000円(本体価格400,000円 消費税40,000円)
5. 対象 SC協会会員企業の中堅社員(SC事業に関連した職種で5年以上の実務経験を有すること)
6. 定員 40名(予定)
7. 担当指導教授(敬称略)

- SC序論(合宿研修) 小嶋 彰 (株)フロンティアリテール研究所 代表取締役 (SC経営士)
- SC総論 I (6単元) 犬塚 潤一郎 実践女子大学生生活科学部 教授(哲学、メディア学、風土学)
- SC総論 II (6単元) 彦坂 裕 (株)スペースインキュベータ 代表取締役・上海視覚芸術学院徳稲大師学院教授・日本建築家協会会員
- SC経営実践論(7単元) 矢木 達也 (株)ピーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役社長 (SC経営士)
- 特別演習(3単元) 太田 巳津彦 (株)ワイ・キャップコンサルティング 代表取締役 (SC経営士)
- 特別講義(4単元)
- ゼミ方式(4単元)

8. お申し込み・お問い合わせ先

(一社)日本ショッピングセンター協会 教育研修部/奥田・浜・藤原・阿部
〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル15F
TEL: 03-5615-8523 FAX: 03-5615-8539 E-mail: scac@jcsc.or.jp

9. お申し込み締切日 2024年2月9日(金) ※期日前でも定員に達し次第、締切とさせていただきます。

10. 受講申込者及びご担当者様へ

- 基本リアル受講を推奨いたしますが、遠隔地での受講をご希望の方はリモート受講も可能です。「合宿研修」、「SC総論 I・II」「SC経営実践論」の最終回、特別演習の現地視察は、原則会場への出席となります。SCアカデミー事務局より遠隔地からの受講生として承認された方は交流の機会の支援(宿泊費)を、年間5回、各回1万円を限度に補助いたします。
- 下記の受講申込書を提出後、①実務経歴書及び所属企業の推薦状と②1,200字程度の小論文(何を学びたいか、受講の目的)の提出をお願いいたします。受講申込者については、①実務経歴書、②小論文に基づいて、入学の審査を行います。審査の結果によっては、受講をお断りする場合がありますので、ご了承ください。審査結果は、2月末にご連絡いたします。協会事務局より受講申込書を提出後に、①のフォーマットのデータをお送りいたします。①、②につきましては、2024年2月22日(木)までに必ずご提出願います。
- 開催期間中に受講生が何らかの理由で辞退されても、受講料は返金いたしませんので、ご了承ください。
- 本アカデミー修了者は、SC経営士二次試験が免除になります。

キリトリ線

<FAX:03-5615-8539> 奥田・浜・藤原・阿部 行

SCアカデミー第18期受講申込書

企業名: _____ 担当者部署: _____ 担当者名: _____
〒 _____ TEL: _____
住所: _____ FAX: _____ E-mail: _____ @ _____

受講者名	部署・役職	E-mail
フリガナ		@
フリガナ		@

※振込銀行名: _____ 銀行 _____ 店から _____ 銀行(協会指定)へ _____ 月 _____ 日振込予定

個人情報の利用目的について

当協会は、今回取得します皆様の個人情報を主に「SCアカデミー」を実施するために利用します。その円滑な実施のために名簿を作成して、参加者や講師に配布します。詳細は当協会ホームページを参照ください。 <http://www.jcsc.or.jp/>